

健康経営に関する各種指標

更新日2024/01/17

＜①健康投資施策の取組状況に関する指標＞	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
定期健康診断受診率		96.7%	100%	100%	100%
定期健康診断後の精密検査受診率		61.0% (継続中)	54.9%	42.7%	5.0%
ストレスチェック受診率		95.5%	95.4%	96.9%	94.4%
特定保健指導該当者率		4.5%	8.8%	12.0%	12.2%
特定保健指導実施率（初回）		100%	91.7%	87.9%	90.6%
有給休暇平均取得日数		12.0日	11.6日	10.7日	6.6日（2018年度）
＜②従業員の意識変容・行動変容に関する指標＞	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
喫煙率		4.5%	5.2%	7.5%	8.2%
1日当たりの飲酒量が3合以上の割合		1.4%	0.7%	0.9%	1.1%
睡眠により十分な休養が取れている		64.9%	68.5%	66.0%	70.8%
運動習慣比率（1週間に2回、1回あたり30分以上の運動を実施している）		19.7%	16.0%	17.2%	15.7%

<③-1健康関連の最終的な目標指標>	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
適正体重者率		65.5%	65.7%	65.2%	68.9% (2018年度)
有所見率 (総合判定が要精密検査以上)		66.2%	55.6%	62.6%	53.8%
適切管理率 (血圧)		86.0%	76.8%	84.3%	82.6%
適切管理率 (糖代謝)		58.0%	45.7%	58.3%	69.2%
適切管理率 (脂質代謝)		74.0%	75.2%※	23.7%	23.6%
高ストレス者率		12.0%	9.5%	10.6%	9.8%
離職の状況 (傷病による離職)		0人	0人	0人	2人 (2018年度)

※2022年度未治療時の脂質異常閾値を変更

<③-2健康関連の最終的な目標指標>	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
従業員数	842人	832人	837人	-	-
回答数	313人	488人	310人	-	-
回答率	37.1%	58.6%	37.0%	-	-
プレゼンティーズム（SPQ東大1項目版）	26.96点	25.56点	25.19点	-	-
アブセンティーズム	2.0日	2.25日	2.29日	-	-
ワークエンゲージメント （ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度9項目版）					
活力	2.63点	2.61点	2.58点	-	-
熱意	3.01点	3.00点	3.07点	-	-
没頭	2.58点	2.57点	2.61点	-	-
9項目	2.74点	2.73点	2.75点	-	-
<③-3健康経営に関するアンケート>	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
健康経営施策に対する満足度（%）	61.05	60.59	-	-	-
組織全体の活性度（5点満点）	3.30点	3.28点	-	-	-
組織に対する貢献意識（5点満点）	3.01点	3.00点	-	-	-

【働きやすい職場形成のための行動計画】

一般社団法人半田市医師会では、全職員がその個性を十分に発揮し、安心して働き続けることができるような雇用環境の整備を図りつつ、仕事と子育てを両立させ、次世代育成支援について地域に貢献する企業となるために、以下のような行動計画を策定する。

1. 期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日

2. 内容

目標1：管理職に占める女性割合を10%以上にする

対 策：女性労働者能力の向上のための取り組み、またはキャリア形成を支援する研修の取り組み、昇格意欲の喚起または管理職に必要なマネジメント能力等の研修の企画・実施をする。

目標2：育休取得者の申し出をした女性職員の育児休業取得率100%を維持する

対 策：育児休業中の職員に対して復職前面談を実施する。また職場復帰後も仕事と家庭の両立をしやすい職場環境を整備する。

目標3：1人当たりの所定労働時間を月30時間以内とする

対 策：管理職を対象に所定労働時間削減への意識改革を促し、職員に対して勤怠管理のルールを再度周知し、削減に対する取り組みおよび業務の効率化の推進を図る。また、業務分担、スケジュールを見直し、業務が滞ることなく職員が協力し合って負担を軽減させる。

目標4：地域の小中学生の職場体験等の受け入れを拡充するとともに、また授業での職場教育の講師派遣を行い、予防医療、公衆衛生、医学臨床検査等の医療の仕事を理解してもらう

対 策：各学校との連携を強化し、職場体験等を計画、実施する。

女性労働者に対する職業生活に関する機会の提供

●労働者に占める女性労働者の割合

医療技術職 69.4%

事務職 86.6%

●男女の賃金の差異

全労働者 59.1%

うち 正規雇用労働者 71.2%

うち非正規雇用労働者 98.5%

●職業生活と家庭の両立

男女別の育児休業取得率

男性 100%

女性 100%